

調査報告書

- 1 とき：2012年7月6日
- 2 行先：守山養護学校
- 3 参加者：わしの恵子・山口清明・岡田ゆき子・さはしあこ、政務調査補助員（浜田）
- 4 主な内容
 - ・ 守山養護学校の生徒数は産業化ができたことも重なり、7年間で2倍になった。
 - ・ 2008年に中庭を潰し増築したが、それでも教室が足りない状態になっている。
 - ・ 相談室がないので廊下で行ったり、生徒が心を落ち着かせる部屋を確保できず更衣室の一角にカーテンをつけて代用したり、生徒の精神状態に良い環境とは言えない。
 - ・ 1つのプールを小・中・高等部が使うので、高等部は小・中が帰った後など時間をずらして工夫しているが、学期に2回ほどしか入れない。
 - ・ 工作用電動ミシンも他の教室へ運んで共有している。
 - ・ 食堂は狭いので高等部普通科だけが使用し、他は教室へ運んで食べている。
 - ・ 北棟2階の産業課実習室2つと作業室は教室にする予定らしいが、潰した実習室と作業室の代替はこれから考えるそうだ。
 - ・ すべてをなんとかやりくりしている状況。
 - ・ 高等科は、産業課に落選した普通科の生徒と産業課の生徒が顔を合わせないよう配慮しているので、なおさら教室が足りない。
 - ・ 今後更に生徒が増えたらパンクしてしまう。

 - ・ やはり、養護学校の増設が必要だ。